

# ささえ愛

北宇和高等学校  
人権委員会  
2024 6月号

6月13日(木)は人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。1年生はよりよい人間関係をつくるために、2年生は人権の歴史Ⅱとして「解放令」と差別と闘った人々から学び、3年生は確かな進路保障のために自分たちの取るべき姿勢を確認しました。人権委員の感想の一部を紹介します。



## 1-1

アサーティブな表現を学んだ。誰とでも仲良くなれるような表現の仕方を身に付けて、自分も大切にできる人になりたいと思う。



## 1-2

人とのコミュニケーションは大切だと思った。相手に配慮するだけでなく自分も相手も大切にするという事を学んだ。



## 1-3

互いのいいところを言い合った班活動が印象に残った。これからは相手のことを考えたアサーティブな表現をしようと思った。



## 2-1

身近で差別やいじめが起っていたら自分から止めたい。自分で声を掛けられなかったら、誰かに相談して困っている人を0にしたい。



## 2-2

日ごろから人権問題を勉強していきたいと思った。少しでも差別がなくなるように、自分が気を付けるようにしたい。



## 2-3

差別をしない人間になりたい。人に合わせて生きることはしたくない。楽しいことは一緒にしたいし、皆のものを自分だけのものにはしたくない。



## 3-1

「差別を見抜く力」「許さない感性」「差別をなくしていく力」このことを頭に入れて、自分から差別をなくしていきたい。



## 3-2

不適切な質問をされた場合に気が付くかどうか分からないとも思った。気付いて対応できるように勉強しておきたい。



## 3-3

自分の就職面接で不適切な質問があっても、自分の意見をしっかりと伝えるようになりたいと思った。

## 5月号の感想を紹介します。

5月号は人権委員長によるいじめや差別をなくしたいという記事でしたね。



人それぞれ違った個性があるのに自分と違うところを見つけていじめようとしている。私はその考えを減らしたい。

環境が人を変えるので、環境を大切にしたい。  
ネットでのいじめは匿名投稿ができてしまうので匿名なしの制度を作った方がいいと思った。

考えや行動が自分に近い人は仲間になりたいし、そうでない人は排除しようとする気持ちを取り除くことが必要なんだと思った。

いじめに関する立場で最も難しいのは第三者だと思った。自分が第2の被害者になると思ったら保身に向かう人は多いです。

様々な人権問題に背を向けるのではなく、しっかり向かい合いたい。

委員長のあいさつを見て、私もなぜ差別やいじめが起こるのだろうと思った。差別やいじめについてもっと学びたい。

一つでも差別をなくしたいという言葉に共感しました。私も、差別というのは誰か悲しむ人が出てしまうと考えている。

自分に人権があるように、他人にもある。お互いが尊重し合える学校にしたいと思った。